



# 高津・大山街道探究講座

川崎市大山街道ふるさと館では、大山街道や高津地域の歴史・文化について、より深く学ぶことのできる「高津・大山街道探究講座」を開催します。各専門分野の講師をお招きし、ご講演いただきます。

会場：当館2階イベントホール / 参加費：各回 700円 / 定員：各回45名

申込方法：9月11日(木) 9時30分から大山街道ふるさと館ホームページの

メールフォームまたは電話で受け付けます。(先着順・定員になり次第しめ切り)

## 10/11 (土) 10時～12時 「古墳時代の二子・溝口

講師：新井 悟氏 (川崎市教育委員会事務局文化財課学芸員) — 多摩川流域の古墳群 —

約350年にわたる古墳時代、多摩川下流域には多くの古墳群が出現しました。のちの橘樹郡の原型が出来上がったという意味で、この地域を「原タチバナ」ともいえます。そして二子・溝口地域は、その中心地のひとつとなる場所です。本講座では、多摩川下流域の古墳群を概観し、近年の発掘調査の成果もまじえて、二子・溝口地域の古墳時代を解説します。

白井坂の埴輪 ▶



## 11/8 (土) 10時～12時 「大山街道と古仏—武蔵・相模の仏像—

講師：花澤 明優美氏 (横浜市歴史博物館学芸員)

江戸時代の人々が大山をめざす道中に設けられた宿場には参拝者の記録が残されており街道を活発に行き来した人々の様子がうかがえます。人の往来が盛んだったこの街道沿いには、現在も由緒ある寺社が多く残っています。本講座では、二子・溝口宿をはじめ神奈川県域の大山街道各宿場や街道沿いの寺社に伝わる仏像を紹介します。

荏田・真福寺 ▶



## 12/14 (日) 10時～12時 「昭和初期の高津町

講師：松本 洋幸氏 (九州大学教授) — 今から100年前の町づくり —

現在の溝の口付近は、明治・大正時代には高津村と呼ばれていました。今から100年ほど前に、二子橋が開設され、玉川電鉄が開通し、都市化が進み、昭和3(1928)年には高津町となります。高津町には、近代的な町役場や図書館・女学校などが設置され、簡易水道も整備されるなど、川崎・東京近郊の「地方都市」となっていきます。この講座では、昭和12(1937)年に川崎市と合併される直前の高津町と、町づくりに尽くした人びとの姿をたどります。



▲ 高津町役場



- ▶ JR南武線武蔵溝ノ口駅下車徒歩7分
- ▶ 東急田園都市線高津駅下車徒歩5分
- ▶ 東急バス 溝口駅北口バスターミナル5番のりばから乗車2つめ「高津」下車徒歩1分

主催 川崎市大山街道ふるさと館  
〒213-0001 川崎市高津区溝口3-13-3  
電話 044-813-4705



ホームページ